

平成29年8月9日に福岡県福岡市博多区で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月9日8時10分頃、福岡県福岡市博多区須崎町から呉服町にかけて突風が発生し、住家外壁材の浮き上がりなどの被害がありました。

このため8月9日、福岡管区気象台は、職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ガストフロントの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・漏斗雲の目撃や耳に異常を感じたなどの竜巻を示唆する情報は得られなかった。
- ・風は急に強くなり、その状態が10分程度続いたという証言があった。
- ・被害地に近い福岡管区気象台の観測データで、ガストフロント通過時に特徴的な風速の急増、気温の降下、気圧の上昇がみられた。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約30m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当する。

(根拠)

- ・住宅又は店舗の外壁材の浮き上がり。

※この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。